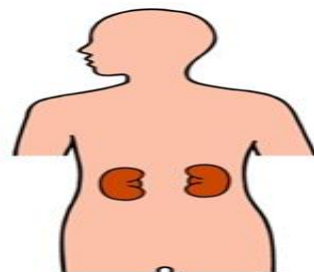


糖尿病だより

「腎臓」とは、

腎臓はそら豆に似た形の臓器で、
左右にひとつずつあります。
大人の握りこぶしほどの大きさです



～腎臓の5つの役割～

腎臓には、血液をきれいにするなど、生命を維持する上で大切な役目があります。

- ① 老廃物を体の外に排泄する・・・糸球体で血液を濾過します
- ② 体液量やイオンバランスを調整する
- ③ 血液を作る指示をだす
- ④ 骨を強くする
- ⑤ 血圧を調整する

★糖尿病の3大合併症の一つで糖尿病性腎症があります

糖尿病の人は、だれでも腎症になる可能性があります

※糖尿病性腎症になると血液をきれいにする機能が低下します

→ 腎症が進行すると糸球体が減少するためです

糖尿病性腎症は、第1期から第5期まで分類されますが、

早期治療が大切です！

第2期（早期腎症期）・・・アルブミン尿が出始める

第3期（顕性腎症期）・・・アルブミン尿（たんぱく尿）増加

第4期（腎不全期）・・・腎機能が顕著に低下

第5期（透析療法期）・・・透析療法や腎移植など

腎臓の状態を知る検査

- ① 尿中アルブミン
- ② 尿たんぱく
- ③ GFR

☆糖尿病性腎症の治療は

「血糖」＋「血圧」＋「脂質」のコントロールが重要です！！

糖尿病性腎症病期分類2023とCKD重症度分類との関係

アルブミン尿区分			A1	A2	A3
			正常アルブミン尿	微量アルブミン尿	顕性アルブミン尿
尿中アルブミン・クレアチニン比 (mg/g)			30 未満	30 ~ 299	300 以上
尿蛋白・クレアチニン比 (g/g)					0.50 以上
GFR 区分 (mL/分/1.73m ²)	G1	≥ 90	正常 アルブミン尿期 (第1期)	微量 アルブミン尿期 (第2期)	顕性 アルブミン尿期 (第3期)
	G2	60 ~ 89			
	G3a	45 ~ 59			
	G3b	30 ~ 44			
	G4	15 ~ 29	GFR 高度低下・末期腎不全期 (第4期)		
	G5	< 15			
	透析療法中あるいは腎移植後		腎代替療法期 (第5期)		

出典：日本腎臓学会誌「委員会報告糖尿病性腎症病期分類2023 の策定」